## 定期作況報告

(令和 2 年 8 月 20 日現在) 酪農試験場天北支場

#### I 気象概況

7月下旬から8月中旬までの気象は以下のように推移した。

7月下旬:最高気温は19.9℃(対平年比、以下同 -4.3℃)、最低気温が14.4℃ (-2.5℃)と平年より低かったため、平均気温は17.0℃(-3.2℃)と平年より低かった。降水量は49.5mm (132%)と平年よりやや多く、特に21日は34.0mmと多かった。日照時間は52.4時間(97%)と平年並であった。

8月上旬:最高気温が 22.3°C (-1.8°C)、最低気温は 15.4°C (-1.8°C) と平年より低かったため、平均気温は 18.7°C (-1.7°C) と平年より低かった。降水量は 93.5mm (634%)と平年より多く、特に 6 日は 24.0mm、7 日は 23.0mm と多かった日照時間は 43.2 時間 (85%)と平年並であった。

8月中旬:最低気温が 16.8  $\mathbb{C}$  (-0.1  $\mathbb{C}$ ) と平年並であったが、最高気温が 23.4  $\mathbb{C}$  (+0.6  $\mathbb{C}$ ) と平年よりやや高かったため、平均気温は 20.1  $\mathbb{C}$  (+0.5  $\mathbb{C}$ ) と平年よりやや高かった。降水量は 20.0 mm (38%) と平年より少なかった。日照時間は 27.5 時間 (73%) と平年よりやや短かった。

平均気温の 3 旬の平均は 18.6  $^{\circ}$   $^{\circ}$  (-1.5  $^{\circ}$  ) と平年より低かった。降水量の 3 旬の合計は 163.0mm (155%) と平年より多かった。日照時間の 3 旬の合計は 123.1 時間 (86%) と平年並であった。

#### 気象表

月	旬	平均気温(℃)			最	最高気温(℃) 最低気			低気温(℃	<b></b>	
	ΕIJ	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
7月	下	17.0	20.2	△3.2	19.9	24. 2	△4.3	14.4	16.9	$\triangle 2.5$	
8月	上	18.7	20.4	△1.7	22.3	24. 1	△1.8	15. 4	17.2	△1.8	
ОЛ	中	20.1	19.6	0.5	23. 4	22.8	0.6	16.8	16.9	△0.1	
3 旬平均		18.6	20. 1	△1.5	21. 9	23. 7	△1.8	15. 5	17. 0	△1.5	

月	旬	降水量 (mm)			降水日数(日)			日照時間(h)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
7月	下	49.5	37.4	12.1	4	3	1	52. 4	54.3	△1.9
8月	十	93. 5	14.8	78.7	6	2	4	43. 2	50.6	$\triangle 7.4$
ОЛ	中	20.0	53.0	△33.0	4	5	$\triangle 1$	27. 5	37.6	△10.1
3旬合計または 平均		163. 0	105. 1	57.9	14	10	4	123. 1	142. 5	△19. 4

- 注1) 観測値は浜頓別アメダスのデータ。
  - 2) 平年値は前10か年の平均値。
  - 3) △印は対平年値比減を示す。

# Ⅱ 作 況

### 1. 採草型 チモシー (2番草)

事由: 2番草は1番草収穫から53日後の8月8日に刈り取った。2番草収穫は平年より 1日遅かったが、大部分の個体で出穂茎が見られたため、草丈は平年よりかなり高 かった。

生草収量は平年より大幅に少なく、乾物率は平年を下回り、乾物収量は平年比 58%とかなり低収となった。1番草収穫後、7月中旬の干ばつにより、出穂が早まったが、生育は停滞したと考えられる。

作況:不良

以上より、2番草の作況は不良といえる。

収利	嬳期(月.	日)	収種	<b>读時草丈</b>	(cm)	生育日数			-
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	= _
8.7	8.8	$\triangle 1$	103	72	31	53	52	1	
生草	収量(kg/	/10a)	車	5物率(%	<sub>0</sub> )	乾物			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年上
761	974	△ 213	17.8	27.8	$\triangle$ 10.0	136	234	△ 98	58

注) 平年値は前7カ年のうち、最豊年(平成30(2018)年) および最凶年(平成27(2015)年) を除いた5カ年の平均値である。